

第 49 回造本装幀コンクール審査会

審査会は5月12日（火）午後1時より神楽坂の日本出版会館4F大会議室で開催された。出品点数は、文学・文芸（エッセイ）、芸術書、児童書・絵本、専門書など、部門全体で前年より15点増えて349点となった。

審査は、学術経験者の武蔵野美術大学教授の柏木博氏、絵本作家の浜田桂子氏、グラフィックデザイナーのミルキィ・イソベ氏、装幀家の緒方修一氏、女優・脚本家の中江有里氏と（一社）日本書籍出版協会委員、（一社）日本印刷産業連合会委員、（公社）日本図書館協会、（公社）読書推進運動協議会、（一社）出版文化国際交流会、そして経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課課長補佐の高橋淳子氏・同係長檜原龍史氏により行われた。

午後1時過ぎに、（一社）日本書籍出版協会の中町英樹専務理事から主催者挨拶が行われた後、審査員の紹介、柏木博氏の審査委員長選出、審査要領についての説明が行われた。

全員で行う第1次審査（予選審査）に続き、第2次審査では、各後援団体の代表により、「日本図書館協会賞」「読書推進運動協議会賞」「出版文化国際交流会賞」「出版文化産業振興財団賞」各1点の計4点を予選通過作品の中から選考した。

日本書籍出版協会理事長賞は同協会委員によって部門別に6作品を選考。日本印刷産業連合会会長賞は同連合会委員によって同じく6作品が主催者賞として選考された（特に印刷・製本が優れている作品を印刷・製本特別賞とした）。

第1次・第2次審査が終了した後、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、東京都知事賞の三賞が、柏木博氏、浜田桂子氏、ミルキィ・イソベ氏、緒方修一氏、中江有里氏の5名とアドバイザーとして入山俊昭氏（印刷）と常川和勇氏（製本）のエキスパートが加わり選考が行われた。2次審査で投票数の多かった作品を中心に1点ごとに作品に対する評価を行い、授賞官庁担当官の確認を経て最終決定が行われた。その後、審査委員奨励賞の選考が行われた。最後に三賞選考委員各氏により講評が行われ、日印産連の堀口宗夫専務理事が閉会挨拶を行ない、審査会は終了した。

□入賞作品〈①作品名 ②出版社名 ③装幀者名 ④印刷会社名 ⑤製本会社名〉

【文部科学大臣賞】 ①博物図譜とデジタルアーカイブ特装本 ②武蔵野美術大学美術館・図書館、武蔵野美術大学造形研究センター ③谷田 幸、毛利彩乃 ④山田写真製版所 ⑤美篤堂、毛利彩乃

【経済産業大臣賞】 ①Daido Moriyama : Dazai ②マッチアンドカンパニー ③町口 覚（マッチアンドカンパニー） ④図書印刷 ⑤図書印刷

【東京都知事賞】 ①王 伝峰 作品 魚 ②王伝峰藝術研究院 ③中島英樹 ④大日本印刷 ⑤大日本印刷

入賞作品



白熱する最終審査



日本印刷産業連合会 稲木会長と日本書籍出版協会 相賀理事長



審査員の真剣な眼差し

